

## Aヘッドフォークの説明 ① 2005. 01. 01

### ☆ Aヘッド(インテグラルヘッド)アンカー小物説明 ☆

※Aヘッドの、アンカー小物は専用工具で打ち込んで調整致します。

通常、メーカーのフロントフォークはカッティングしてありません。

特定のメーカーではカットしてある品物もありますが、カットしているメーカーは少ないです。フレームだけお買いあげの方は、ご指定がない限りカットなしのままでの発送となります。アンカー小物は付属で付いてきますが、通常は専用工具で打ち込んで調整するタイプが付いてきます。ハンドルバーの高さの位置が決まっている方には問題ないですが、上下する可能性のある方は、調整可能なアンカーのご使用をお勧め致します。

自転車を乗り込んで行けば行くほど、ハンドルまでのサイズやハンドルの高さが身体に合わなくなってきました。つまり、自転車に乗る筋力がついているときと、半年も乗らないで乗り始めたときではハンドルの高さを調整するようになります。

つまり最初からハンドルの高さを決めてフロントフォークをカットしてしまったときには、もう高くすることが出来ません。どうしても高くしたいときは、ステムを換えて上向きにするかフロントフォークを交換するしかありません。

タカハシではAヘッドタイプのフロントフォークの場合は、アンカー小物は打ち込みタイプより「調整できるタイプ」をお勧めしています。そして、最初はフォークコラムカットが出来れば長めに(コラムスペーサーを入れて)をお勧めします。

### 【Aヘッドアンカー小物の説明】



通常はこのようにカットしていない状態です。コラムをカットしてアンカーナットを打ち込みます。



コレガアンカーナットです。専用工具で打ち込みます。



打ち込んだ状態です。簡単には取り外せません。



「クワハラのアンカー小物」です。これでしたら、ステムの上下調整が楽です。



上から見た部分です。アーレンキの6本のネジ部分が見えます。



6ミリのレンチで中を締めます。



キャップは5mmのアーレンキで締めます。



スペーサーを入れ、ステムを付けてキャップをして調整して完了。

## Aヘッドフォークの説明 ② 2005. 01. 01

### ☆Aヘッド(インテグラルヘッド)調整用イタリアンタイプ・アンカー小物説明☆

※ デ ローザ・ピナレロなどに付いていますAヘッド(インテグラルヘッド)のアンカー小物は5ミリと6ミリのアーレンキによって調整が出来ます。

フレームだけお買いあげの方は、ご指定がない限りカットなしのままでの発送となります。アンカー小物は付属で付いてきますが、通常は専用工具で打ち込んで調整するタイプが付いてきます。ハンドルバーの高さの位置が決まっている方には問題ないですが、上下する可能性のある方は、調整可能なアンカーのご使用をお勧め致します。

自転車を乗り込んで行けば行くほど、ハンドルまでのサイズやハンドルの高さが身体に合わなくなってきました。つまり、自転車に乗る筋力がついているときと、半年も乗らないで乗り始めたときではハンドルの高さを調整するようになります。

つまり最初からハンドルの高さを決めてフロントフォークをカットしてしまったときには、もう高くすることが出来ません。どうしても高くしたいときは、ステムを換えて上向きにするかフロントフォークを交換するしかありません。

タカハシではAヘッドタイプのフロントフォークの場合は、アンカー小物は打ち込みタイプより「調整できるタイプ」をお勧めしています。お勧めは「クワハラ」のアンカー小物ですが、ご指定のない場合は、イタリアンタイプの調整用アンカー小物をおつけしております。☆最初はフォークコラムカットが出来れば長めに(コラムスペーサーを入れて)をお勧めします。☆

### 【イタリアンタイプAヘッドアンカー小物の説明】





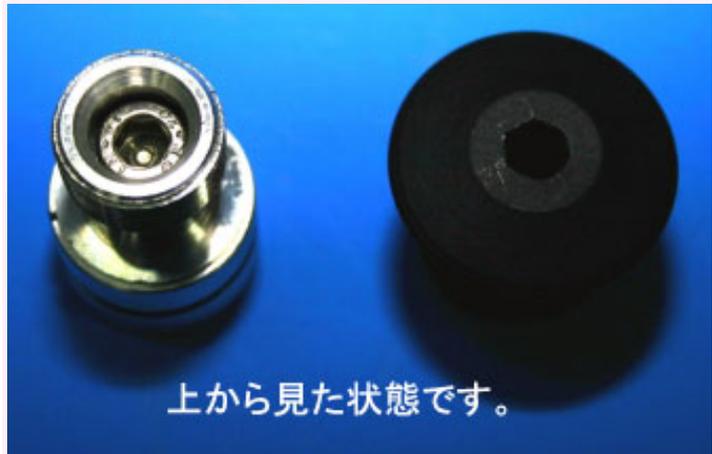
イタリアフレーム付属  
アンカー小物取扱説明

これがイタリアンタイプアンカーナットです。



本体小物と黒キャップが  
別々に分解できます。

上のキャップと下のキャップにはずれますので、最初は外して下の金具だけをコラムに取り付けます。



上から見た状態です。

取付金具の真ん中にネジが見えます。



- ①左から 金具を手で持ってアーレンキで締めて、フォークコラムにやっと入れる状態を入れます。
- ②金具が回らない状態のまま、上から5ミリのアーレンキレンチで締め込みます。
- ③先ほど外してある黒キャップを上から6ミリで締め込み、完成です。

- ① はじめに本体を手でしっかり持ってアーレンキの5ミリで締め付けます。
- ② コラムに金具を押し込んで5ミリのレンチで締め付けます。このときに金具本体がコラムの中で回らないようにしてください。金具がしっかりとコラムの中で止まりましたら、ハンドルステムを入れた状態で、黒キャップを手でねじ込んでいき最後に6ミリのレンチで止めて、ステムの横のネジでしっかり止めて完成です。

これによりステムを外すときはコラムの中のネジをいじらなくとも、上の黒キャップを外すことで調整が出来ます。5ミリレンチと6ミリレンチで締めたり緩めたり出来ます。